

小規模図書館に見る医療・健康情報サービスの実践例

柚木聖，加納邦子，小林順子，佐藤晋巨，杉森弘子，
鷹野祐子，高橋宏美，蓮見博，舟田彰

日本図書館協会健康情報委員会

❖ 目的 一般市民への医療・健康情報サービスについて、従来は都・県立図書館、政令指定都市など比較的大規模な図書館の事例が注目されてきていた。しかし、国内の大多数の公共図書館は、地域住民に直接奉仕をする「町の図書館」「中小図書館」と呼ばれる市町村立の図書館であり、これらの館が我が国の図書館サービスの発展を支えている。医療・健康情報サービスについても地方の中小の公共図書館の取り組みの実態を知ることは、今後のサービスの普及や発展を展望するためにも有意義である。

日本図書館協会健康情報委員会では、こうした問題意識から、地方の比較的小規模な館で行われているサービスの活動事例について、調査を行うことにした。

❖ 方法 調査対象館については、県立図書館や政令市を除外した、市町村立図書館の中から選定を行った。選定には平成 21 年に日本図書館協会が国立がんセンターと共同で行ったアンケート調査結果を利用し、設問の自由記入欄に活動の具体的な報告があった館の中から、調査対象館を選定した。

調査には共通のアンケート用紙を使用して、平成 24 年 6 月に電子メールによる調査を行った。併せて調査対象館にはサービスコーナーの写真の提供を依頼したが、現地調査は行っていない。

❖ 調査対象館

（人口は平成 22 年の国勢調査による）



- A 湧別町図書館(北海道)
人口 10,044 人 面積 505.74 km²
- B 愛荘町立図書館(滋賀県) * 回答: 愛知川、秦荘の 2 館
人口 20,133 人 面積 37.95 km²
- C 坂出市立大橋記念図書館(香川県)
人口 55,631 人 面積 92.46 km²
- D 奈義町立図書館(岡山県)
人口 6,085 人 面積 69.54 km²
- E 山陽小野田市立中央図書館(山口県)
人口 64,550 人 面積 132.99 km²
- F 宇佐市民図書館(大分県)
人口 59,008 人 面積 439.12 km²
- G 宮崎県医師会の医療情報コーナー *

* 公共図書館ではないが、一般開放を行っている。

❖ 設問 医療・健康情報サービスを始めた理由、時期、サービスの内容、担当者の人数、利用者からの反響、利用状況、今後の課題、その他お知らせしたいこと、PR

❖ 結果 本発表では、調査対象館の回答から小規模図書館でのサービスの可能性についてまとめ、小規模館との連携について呼びかけたい。今後は、本調査対象に東北地方などがないことを踏まえ、全国的な動向について調査していきたい。